

広島商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	流通と情報
科目基礎情報						
科目番号	1924004		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	流通情報工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	特になし					
担当教員	永岩 健一郎					
到達目標						
(1) 我が国の産業の変化を理解し、消費生活が向上し消費形態が変化してきていることを理解する。 (2) 生産と消費の分離から商品が誕生し、その商品の特性や売上の仕組み、多様化を通して商品開発の考え方を理解する。 (3) 流通の仕組みやサプライチェーン、消費者対応の流通のあり方について理解し、物流・金融・保険の役割についても理解する。 (4) 流通における情報と通信の枠割を理解し、流通情報システムの構築やICT社会の基礎を理解する。 (5) 経済の発展と新しいサービス産業、ベンチャービジネス時代の商品研究について理解する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	我が国の産業の変化を理解し、消費生活が向上し将来の消費形態が変化を予測して説明できる。		我が国の産業の変化を理解し、消費生活が向上し現時点での消費形態の変化を説明できる。		我が国の産業の変化を理解し、消費生活が向上し現時点での消費形態の変化を説明できない。	
評価項目2	生産と消費の分離から商品が誕生し、その商品の特性や売上の仕組み、多様化を通して新しい商品開発の考え方を提案できる。		生産と消費の分離から商品が誕生し、その商品の特性や売上の仕組み、多様化を通してこれまでの商品開発を説明できる。		生産と消費の分離から商品が誕生し、その商品の特性や売上の仕組み、多様化を通してこれまでの商品開発を説明できない。	
評価項目3	流通の仕組みやサプライチェーン、消費者対応の流通のあり方について理解し、物流・金融・保険の役割について関連付けて説明できる。		流通の仕組みやサプライチェーン、消費者対応の流通のあり方について理解し、物流・金融・保険の役割も簡単に説明できる。		流通の仕組みやサプライチェーン、消費者対応の流通のあり方について理解し、物流・金融・保険の役割も簡単に説明できない。	
評価項目4	流通における情報と通信の役割を理解し、複雑な流通情報システムの構築やICT社会を説明できる。		流通における情報と通信の役割を理解し、基礎的な流通情報システムの構築やICT社会を説明できる。		流通における情報と通信の役割を理解し、基礎的な流通情報システムの構築やICT社会を説明できない。	
評価項目5	経済の発展と新しいサービス産業と関連付けて、高度なベンチャービジネス時代の商品研究について説明できる。		経済の発展と新しいサービス産業と関連付けて、一般的なベンチャービジネス時代の商品研究について説明できる。		経済の発展と新しいサービス産業と関連付けて、一般的なベンチャービジネス時代の商品研究について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	(1) 産業経済の発展と消費生活について、我が国の産業の変化と消費生活の向上について学習する。 (2) 商品の成り立ち、特性、売上の成立要件、商品のソフト化、商品開発などについて学習する。 (3) 流通の仕組み、環境変化と流通、物流、金融、保険について学習する。 (4) 流通における情報と通信の役割、流通情報ネットワークシステム、情報・通信とコミュニケーションについて学習する。 (5) ビジネスの創造やベンチャービジネス、商品研究について学習する。					
授業の進め方・方法	(1) 今後学ぶ流通情報工学科の専門科目の基礎となる科目であるから、学習内容をしっかりと身に付ける必要がある。 (2) 学習内容の定着には、日々の予習復習が不可欠である。教科書・配布プリントなどを活用して主体的に学習すること。 (3) 復習課題を出題するので必ず期限内に提出すること。 (4) 学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。					
注意点						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1.産業経済の発展と消費生活		1-(1) わが国の産業の変化を説明できる。	
		2週	1.産業経済の発展と消費生活		1-(2) 消費生活の変化を説明できる。	
		3週	2.商品		2-(1) 商品の成り立ちを説明できる。	
		4週	2.商品		2-(2) 商品の特性を説明できる。	
		5週	2.商品		2-(3) 商品売上の成立要件について理解ができる。	
		6週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(1) 商品のソフト化について説明できる。	
		7週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(2) 商品開発の基本的な考え方を説明できる。	
		8週	前期中間試験 答案返却・解説			
	2ndQ	9週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(3) 流通の仕組みと市場を説明できる。	
		10週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(4) 小売商と卸売商の違いを説明できる。	
		11週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(5) 社会環境変化と流通について説明できる。	
		12週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(6) 流通における物流の役割を説明できる。	
		13週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(7) 流通における輸送の役割を説明できる。	
		14週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(8) 流通における保管の役割を説明できる。	
		15週	3.商品の多様化と流通の仕組み		3-(9) 流通における金融と保険の役割を説明できる。	
		16週	前期末試験 答案返却・解説			

後期	3rdQ	1週	4.流通における情報と通信	4-(1) 流通における情報と通信の役割を説明できる。
		2週	4.流通における情報と通信	4-(2) 情報化と流通について説明できる。
		3週	4.流通における情報と通信	4-(3) 情報とコンピュータシステムについて説明できる。
		4週	4.流通における情報と通信	4-(4) POSシステム、EOS、EDIについて説明できる。
		5週	4.流通における情報と通信	4-(5) SCMとECRについて説明できる。
		6週	4.流通における情報と通信	4-(6) 情報通信とコミュニケーションについて説明できる。
		7週	4.流通における情報と通信	4-(7) IT革命と流通について説明できる。
		8週	後期中間試験 答案返却・解説	
	4thQ	9週	5.新しいサービス産業	5-(1) 新しいサービス産業について説明できる。
		10週	5.新しいサービス産業	5-(2) 新しいサービス産業とビジネスについて説明できる。
		11週	5.新しいサービス産業	5-(3) ベンチャービジネスについて説明できる。
		12週	5.新しいサービス産業	5-(4) ベンチャービジネスの支援体制について説明できる。
		13週	5.新しいサービス産業	5-(5) 商品研究の情報の集め方について説明できる。
		14週	5.新しいサービス産業	5-(6) 商品研究を事例を用いて説明できる。
		15週	5.新しいサービス産業	5-(7)まとめ
		16週	学年末試験 答案返却・解説	

評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	30	20	0	10	0	0	60
専門的能力	30	10	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0